

「親なき後は、親あるうちに」

一般社団法人 栃木県手をつなぐ育成会 会長 小島 幸子

いつも栃木県の育成会を応援いただきありがとうございます。

6月25日水曜日10時から、とちぎ福祉プラザで開催される全体研修会は「親なき後は親あるうちに」をテーマとし国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の理事古川慎治さまをお迎えします。

古川さんは、昭和の終わりに旧法人である国立コロニー「のぞみの園」に入職され、独立行政法人化に伴い新設された地域移行課に所属。45都道府県で300を超える市町村を移行先とする地域移行に取り組みました。得意技は高齢・重度知的障害者の地域移行と地域支援のコーディネートとのことです。私は、古川さんのお話を何度もお聞きしていますが、障害者を地域移行する中で一番、手ごわかったのはその方の親御さんという話に、なかなか息子を離せない自分のことを言われているような気持ちになりました。古川さんは全育連発行「手をつなぐ」の編集委員も務められ全国大会、ブロック大会や全国各地の育成会の講演会に引っ張りだこです。重度知的障害者に対する深い愛情、地域移行への熱い思いと粘り強い行動力、移行先の役所、施設との見事な調整技。そして私たち親に寄り添い伴走してくれる温かさを感じています。障害児がいる若い親御さんも心配なことは「親なき後の暮らし」を一番に上げています。障害のある子どもがいる私たちに知っていて欲しいこと（障害福祉サービスやお金のことなど）今からやれること、今しかやれないことなどたくさんの素敵なお話を聞かせていただきます。皆さん、どうぞご参加下さい。会員以外でも大歓迎です。県育成会へお申し込み下さい。